

審 議 経 過 No. 1

(1) 伊万里市ごみ処理基本計画について	
事務局より、伊万里市ごみ処理基本計画について説明を行った。	
委員	特定家電に電子レンジは入っていないのか。
事務局	入っていない。電子レンジは粗大ごみである。
委員	ごみ処理経費に組合の負担金を入れたらどのくらいの処理単価になるのか
事務局	t 当たり 4 万程度になる。
委員	事業系ごみは t 当たり 5 千円の手数料を取っているため、残りの 3 万 5 千円を市が負担しているということになるだろうが、市の予算のどの項目から出ているのか
事務局	衛生費の一部から出ている。補足だが、負担金は、議会運営費や人件費、建設費等すべて含まれているので、ごみ処理単価として単純に計算できるものではない。
委員	NPO 法人と記載があるが、これははちがめプランのことか。
事務局	そうである。これから先ほかの NPO 法人の参入があるかもしれないため、そのように表記している。
委員	西部広域ごみ処理施設（以下、新施設という。）の建設費は 140 億で、焼却施設は大体 20～30 年の使用年数だが、単純計算で年間 5 億の焼却費用とすると、現在の t 当たり 5 千円の手数料じゃ到底賄えないだろう。手数料がいくら値上がりするのか知りたい。
事務局	それはまだ答えることができない。新施設を建設している西部広域環境組合は市とは別の一部事務組合に属する団体であり、組合での議会承認がなされていないため、勝手に公表することはできない。
委員	予測でもはなせないのか。
事務局	まだ副市町長会の段階なので難しい。しかし、他の市町では t 当たり 1 万 6 千円の手数料を取っているところもあるので、比較して上がることは間違いない。
委員	5 千円の手数料が、たとえば 1 万 6 千円に上がれば事業所は困るだろう。
事務局	手数料のすべてを事業者負担にするつもりはなく、市の負担金を増やす方向性である。しかし、事業者が支払う手数料が増えるのは間違いない。
協議の結果、伊万里市ごみ処理基本計画については了承された。	

審 議 経 過 No. 2

<p>(2) 西部広域ごみ処理施設の進捗状況について</p>	
<p>事務局より、西部広域ごみ処理施設（以下、新施設という。）の進捗状況について説明を行った。</p>	
<p>委員</p>	<p>新施設の水道は、工業用水から引いてくるのか</p>
<p>事務局</p>	<p>松浦には工業用水の配管が通っていないため伊万里市の上水道から引くことになっている。</p>
<p>協議の結果、西部広域ごみ処理施設の進捗状況については了承された。</p>	
<p>(3) その他</p>	
<p>事務局より特段の説明事項はなかった。</p>	
<p>委員</p>	<p>試験運転がされる前に新施設を視察したい。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度中に一度視察する予定である。来年度どの時点で視察するかは、来年の総会で審議したいと思っている。</p>
<p>以上をもって、平成 26 年度伊万里市ごみ対策協議会定期回収部会は閉会した。</p>	